

新春対談
「子育てを考える」
(3~6ページ)

 社協だより

社会福祉法人 浅口市社会福祉協議会

- | | | |
|---------|----------------|------------------|
| □ 本 所 | 浅口市鶴方町鶴方73 | TEL 0865-44-7744 |
| □ 金光支所 | 浅口市金光町占見新田751 | TEL 0865-42-7308 |
| □ 寄島支所 | 浅口市寄島町16010 | TEL 0865-54-3317 |
| □ カニ丸の家 | 浅口市寄島町16089-17 | TEL 0865-54-3113 |

FUKUSHI
福祉
ASAUCHI
あさくち
第21号

www.fukushiokayama.or.jp/Asakuchi/

年頭挨拶

地区社協の立ち上げで 地区の「絆」再生

浅口市社会福祉協議会 会長 山下 隆志



新年あけましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素から本市社会福祉協議会の運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は三月十一日に東日本大震災が起こり、国民全体が衝撃を受け、悲しみ、そして「絆」という字に表されますように、人と人とお互いに助け合い、支え合うこと

の大切さを改めて実感させられました。現在も三十万人を超える方々が避難生活を強いられ、平穏な日々を取り返すために頑張っている状況です。

私も八月に宮城県にまいりました。想像を超える光景に驚くと同時に、個人の力は小さいが、心を合わせればどんな困難にも立ち向かうことができ前進できると思いました。市民の皆様におかれましては、義援金のご寄附、救済物資のご提供、街頭募金へのご協力、町内会あげてのご支援など、様々なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。今後とも息の長いご支援をよろしくお願い申し上げます。

一方、地域に目を向けますと、認知症高齢者の方の地域生活、一人暮らし高齢者の孤立化、障がいを持たれている方の地域生活支援、毎日のように報道される児童への虐待問題など、地域の福祉課題は増大し、

しかも多様化しております。

このような地域における様々な福祉課題に対しまして行政や福祉関係者のサービス向上はもとより、地域住民が地域の中の困りごとを自らの問題として捉え、解決していく新しい公共の仕組み、新しい福祉施策の充実が叫ばれております。

本会では一定のエリアを単位として、民生委員、福祉委員、自治会、老人クラブ、愛育委員、婦人会、PTAなど、従来それぞれの分野で尽力されている関係者が手を取り合い、情報交換しながら連携できる、新しい地域組織である「地区社協」の立ち上げを、今後の重要課題としております。だれもが住み慣れた地域において、いつまでも安心して生活できる「福祉のまちづくり」を目指し、皆様のお知恵やご指導を賜りながら事業を進めてまいります。

本年も職員一丸となり、地域福祉の向上に尽力してまいりますので、今後とも本会の諸事業にご理解とご支援を賜りまようようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

福祉委員改選にご協力を!!

福祉委員は独居老人等への見守り声かけ活動を推進しています



ハートフル福祉員
はまかぜサポーター
いきいき金光サポーター

3月末で任期満了です

—各地区(区、町内会)で推薦をお願いします—

みんなでつくる 「子育て王国」浅口市へ

**新春
対談**


子育てを考える 子育てはもっと楽しくなる

少子高齢化が確実にすすむなか、浅口市では子育てにかかわる組織や団体が、様々な工夫をこらした活動を展開しています。保護者（PTA）や地域のボランティアと情報交換をかねて対談を企画しました。家庭の役割の重要性と地域ぐるみでの子育ての必要性が指摘されました。

「育児」は「育自」 子どもと共に自らも成長

司会…それぞれの活動状況をお聞かせください——

田中…今年度は寄島小学校が統合して20年の記念の年でした。PTAとしても記念の行事を盛り沢山で行ってきました。デジタル教科書の購入や「10年後の自分にあてた手紙」など、学校と保護者が一体となって、健やかな子どもの育成に努めてまいりました。

岡本…金光幼稚園は、年少2クラス年長2クラス91人が仲良くふれあっています。心豊かな子どもたちを育てるために園と家庭・地域が協力して取り組んでいます。金光幼稚園の場合は、園区が広いので地域によっては、送迎バスも運行し

ています。

山田…愛育委員は浅口市に約300人活動しています。子育て関係としては、「赤ちゃん訪問」として3か月児のお宅を訪問しています。周知不足もあり、警戒心から拒否されるお宅もあります。地域の連帯が希薄になっている折、少しでもお役にたてればと思っています。

笠原…寄島で子育てサロンを毎月2回行っています。平成15年から社協の主導のもと、ボランティアが運営しています。毎回8組くらいの親子が参加されています。子どもにとっては同年代との交流、母親にとっては子育てから解放されるひと時になっています。

◆ 出席者 ◆

- | | |
|----|----------------------------|
| 田中 | 電 弥 さん
(寄島小学校PTA会長) |
| 岡本 | こずえ さん
(金光幼稚園PTA会長) |
| 山田 | 直 子 さん
(浅口市愛育委員長) |
| 笠原 | 輝 子 さん
(子育てサロンボランティア代表) |
| 山下 | 隆 志
(浅口市社会福祉協議会長) |



田中 竜 弥 さん

山下…皆さん、それぞれの立場で献身的に活動していただき有り難いことだと思っています。

浅口市では「子育て王国」をキャッチフレーズに各種子育て支援を行っています。すし、社会福祉協議会も、子育てサロン、おもちゃ病院、託児ボランティア等の活動支援を行っています。

また、私自身もPTAの経験があるのですが、子育てを通じて「育児」は「育自」、親も成長したいという思いで活動していました。

やっぱり「早寝 早起き
朝ごはん」でしょう

— 司会…活動を通じて感じていることは—



岡本 こ ず え さん

田中…家庭としては、生活のリズムを正しくすることを指導したいと思っています。いわゆる「早寝、早起き、朝ごはん」などは小学校の低学年までに身に付けさせなくてはなりません。

岡本…金光幼稚園では運動会や焼き芋パーティ、お別れ会などPTAが主体的に関わって行われています。幼稚園とPTAが協力して、子どもの健やかな成長を支えたいと思います。

山田…近頃ではお父さんも育児に積極的に関わっていて、いいことだと思います。

浅口市でもいろいろな子育て施策が行われています。赤ちゃんから小学生くらいまでの集いの場としての「児童館」が欲しいと思います。

浅口おもちゃ病院



修理代は無料ですが、材料の実費はいただきます。受付できないおもちゃもあります。(受付は11:30まで)

日 時	場 所
2月19日(日) 9:00~12:00	金光公民館
3月18日(日) 9:00~12:00	寄島公民館
4月15日(日) 9:00~12:00	浅口市中央公民館 (鴨方)

“つどいのた場” “のびっ子”

乳幼児(おおむね3歳まで)とその保護者の皆さんの遊びと交流の場です。保育士が子育てに関する相談に応じるほか、子育て関連の情報提供も行っています。

場所 ● 浅口市鴨方公民館(鴨方町鴨方1190-2)
TEL 44-4170

日時 ● 毎週月・木・金・土曜日
(祝日・年末年始を除く)
9:00~17:00

◆ 0歳児子育て相談日
毎月第1月曜日
14:00~15:00

※第1月曜日が祝日の場合、第3月曜日

◆ 絵本と紙しばいの日
毎月第1第3木曜日
10:30~11:00

◆ リトミックの日
毎月第2第4月曜日
10:30~11:00

笠原：子育てサロンはすっかり定着して、参加者も増えています。一方ボランティアの方は減少し、高齢化しています。子育てボランティアの養成講座を社協で行っても、なかなか増えません。どの組織も同じ悩みがあるのかもしれないが、メンバーの高齢化が問題です。新たなボランティアを募集しています。



山田直子さん

山下：昨年の漢字は「絆」と発表されました。親子の絆、家族の絆、先生や友達との絆、そして地域での絆―子育てのためにいづれも必要な絆です。

一方、岡山県の小学生の不登校が、全国ワースト1というショッキングなニュースがありました。地域ぐるみで子育てを支援してゆきたい気持ちです。

よく聞く、ほめる、そして 子どもの尊厳を認めて

司会：子育てについての提案やご意見を
お聞かせください――

田中：私自身は、答えを言わずに子ども自身に考えるようにさせています。指示を待つだけでなく、自分で考える力を育み、「自分のことは自分です」「習慣を身に付けてほしい」と思っています。

岡本：先日、研修会で子どもとの関わり合いを「基本的生活」「安全・安心」「愛情」「子どもの尊厳」の4つに大別して勉強しました。特に印象的なのは、「子どもの尊厳」です。子ども自身の思いや願いを聞き、子どものことを認めることを意識したいと思いました。

山田：愛育委員としては、健康への関心を高めることを推進したいと思っています。お子さんの夜間の急病の支援として、小児救急電話相談があります。全国同一の短縮番号「#8000」をプッシュすると、小児科医師・看護師につながるものです。どのように対応しているのか、救急車を呼んだ方がいいのかなどの判断に迷った時など、相談することが出来ます。

子どもの急な病気に困ったら、まず 小児救急電話相談

8 0 0 0

★小さなお子さんをお持ちの保護者の方が、休日・夜間の急な子どもの病気にどう対処したらよいのか、病院の診療を受けたほうがいいのかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師への電話による相談ができるものです。

平日 19:00～22:00

土・日・祝日 18:00～22:00

★短縮番号#8000をプッシュすることにより、岡山県の相談窓口につながります。

子育てサロン

未就学児童とその保護者の集いの場です。ボランティアが季節に応じたレクリエーションを用意します。保護者の方には、保護者同志の交流と気分転換の機会にもなります。

日 時	場 所
第3金曜日 10:00～12:00	浅口市寄島 ふれあいセンター
第4木曜日 10:00～12:00	浅口市寄島 保健センター

※変更する場合があります

参加費 ● 無料（参加自由 ただし、参加登録をしてください）

問い合わせ ● 浅口市社協寄島支所
TEL 54-3317



笠原輝子さん

笠原：寄島では「みるみるワーク」として、登下校の見守りをしています。お互いに元氣よく挨拶したいものです。地域ぐるみで子育てを支えることは大事だと思います。また、地域のふれあいサロンに地域のお子さん・お母さんも参加してもらえたらいいと思います。

山下：「米は1年、木は10年、教育は100年」と言われています。子育て支援もすぐに答えが出ることばかりではありません。地道な取り組みが求められています。しかし、少子化対策は「待ったなし」です。国政レベルで思い切った施策を打ち出してほしいと思います。

今、浅口市社協では地区社協づくりを進めています。高齢化問題のみならず、



山下隆志会長

子育て支援もご指摘のように、地域ぐるみでの活動が大事です。そのためには一定のスケールメリットを持ち合わせたエリアでの取り組みが必要と考えています。地区社協で「世代間の交流」や「地域行事の伝承」などが可能となります。地区社協の設立に対して、皆様のご理解ご支援をお願いします。

ともあれ社協としては、子育てについて「市民が関心を持つ」そして「子育ては素晴らしいこと（楽しいこと）」と思えるような事業を展開するとともに、こうした意識の醸成を図ってゆきたいと思っています。皆様の一層のご奮闘をお祈りします。ありがとうございました。

ひよこ会

対象 ● 金光町在住の就園前の乳幼児とその養育者（主に母親が対象ですが、父親、祖父母でもかまいません）

会費 ● 子ども1人につき1,000円（年額）

運営 ● 会の有志によって運営されています。

主な活動場所 ● 浅口市金光保健センター

申し込み ● 随時

問い合わせ先 ● 浅口市子育て支援課
TEL 44-7011

つくし会

対象 ● 鴨方町・寄島町在住の就園前の乳幼児とその養育者（主に母親が対象ですが、父親、祖父母でもかまいません）

会費 ● 子ども1人につき1,000円（年額）

運営 ● 会の有志によって運営されています。

主な活動場所 ● 浅口市健康福祉センター（鴨方町）

申し込み ● 随時

問い合わせ先 ● 浅口市子育て支援課
TEL 44-7011

— 地区社協の設立のお願い —

今こそ地域の仲間で支え合い！

いつまでも
住み慣れた地域で
家族や仲間と囲まれて
いきいきと
暮らしたい

通院や買い物
いざとなったら
助け合う地域で
暮らしたい

身体が不自由になっても
認知症が心配でも
安心して笑顔で暮らしたい

ストップ！

地区の連帯の希薄化

浅口市におきましても、年々、高齢者人口は増え続け高齢化率も30%を超えています。その中で、お一人暮らしや高齢ご夫婦の方の割合も増加の一途です。何処も地域差はあり

ますが昔のようなご近所付き合い、繋がりは薄れる一方で心温まるコミュニティも失われつつあります。日中、お隣は仕事で不在であったり賃貸住宅で住人の名さえ知らない。このような環境の下では孤独に陥って家に閉じこもる人も出てきます。病氣しても頼る人もいない、家のちょっとした補修、買い物やお出かけ、ごみ出し等に難渋している方、あるいは子育て、介護に悩んでいる方など福祉問題は様々です。

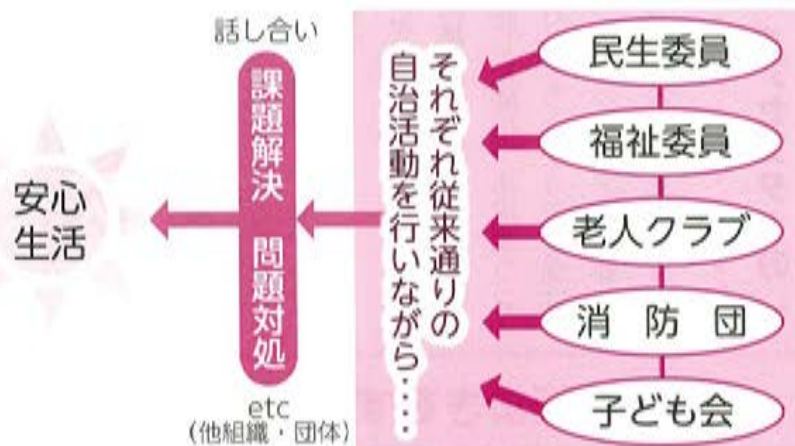
災害に強い地区は

平時からの関係

一方、昨年は東日本大震災のような未曾有の天災・人災をはじめ、世界のいたる所で災害のみられた年でした。被災地で懸命に支援するボランティアの人達、その救助の姿は、頼もしくもあり美しい光景でもあり

ました。いつ何時、我身に災難が及ぶかもしれない。時代に即した新しい縁をみんなで作って安心して暮らせるまちづくりを目指しませんか！

各人がプレイヤーであり
サポーター



地域には、図に示すような多くの組織や団体があり、それぞれに目的ある自治活動をされています。これら既存の組織や団体の代表者が連携しながら、前記のような地域の福祉問題に対処したり、利用する施設の改善箇所等あればその福祉課題の解決にあたっていきます。この新しい組織が地区社協という形となりますが、地域の方達みんなが福祉への理解と関心を寄せて、主体的にプレイヤーの立場となったり、あるいはサポーター役を務めて頂くこととなります。

現在の活動に福祉の要素を
盛り込んで

それぞれの組織、団体で行われている活動はそのまま継続して頂きながら、その中から例えば、見守り、夏祭り、サロン等の行事の幾つかを選んで地区社協の取り組みとします。催などの開催を通じ連帯感は芽生えパワーが引き出されていきます。回を重ねる度に、よりグレードアップされた地域福祉活動が期待できます。

災害に備えて

災害ボランティア

センター設置へ

「災害はひとごと」

だと思っていないませんか

岡山県に甚大な被害をもたらすおそれのある東南海・南海地震の発生が危惧されています。また全国的に局地的な集中豪雨が増加しています。さらに地球温暖化に伴って大雨の頻度や台風の強度が増すことが予測されています。



浅口市社会福祉協議会では、東日本大震災における被災地の社会福祉協議会の活動を生かして、災害ボランティアセンターの体制を平時から立ち上げておく必要があります。

災害ボランティアセンターの基本的な考え方は、浅口市地域防災計画に基づき、市内において地震・水害等の災害が発生した際に、市民ボランティア並びに各地より訪れるボランティアを受け入れ、関係機関との連絡、ボランティアの需要と供給を調整する等、迅速な対応を行うものです。

浅口市災害ボランティアセンターの主な業務

- ・市民ボランティア並びに各地より訪れるボランティアの受け入れ
- ・浅口市災害対策本部等の関係機関との連絡調整
- ・ボランティアを必要とする需要の把握
- ・前項に基づくボランティアの派遣
- ・必要な情報の収集と適切な情報提供

～ 節分に豆まきをするのはなぜ？～

節分は本来、季節の変わり目である立春、立夏、立秋、立冬の前日のことですが、立春は1年の始めといった意味合いから、4つの節分の中でも立春前の節分が重要視され、現在のようになったと考えられています。

節分は、前年の邪気を払い福を招く行事。年男か家主が炒り大豆をまき、家族は年の数だけ食べることで病気知らずの1年を過ごせるのだとか。地方ごとにやり方は様々ですが、ベースは中国の陰陽五行説のようで、宮中の行事から一般へ広まったとも言われています。大豆を使うのは、鬼の目を打つ“魔目”、鬼を滅する“魔滅”に通じるとか、マメに働くといい語呂合わせから来ているとも言われています。

大豆の豊富な栄養にもあやかっているのかもしれませんがね。また、炒って使うのは、拾い忘れた豆から芽が出るのは縁起が悪いとされるからです。



みんなで
食育!



手話奉仕員養成講座 基礎編

手話講座 基礎編を終えて!!

広めよう手話 深めよう障がい理解

浅口市社会福祉協議会では、市からの委託を受けて手話奉仕員養成講座 基礎編を開催しました。聴覚障がい者の方と、手話で意思疎通を円滑に図るために、必要な手話表現の技術習得を目的として、昨年5月から全24回の講座を、入門編を修了者した13名の方が参加して熱心に受講されました。

●「辞めなくてよかった!」

鴨方町 Sさん

基礎に入り、急に難しくなり、勉強についていけず、何度挫折しそうになりました。やっぱり自分には手話は無理だ、辞めようかと考えていました。でも、熱心で丁寧な先生の指導と、一緒に勉強している皆さんの優しさで最後まで頑張ることが出来ました。先生・みなさんに感謝しています。ありがとうございます。

●「これからも続けます!」

寄島町 Sさん

手話の入門・基礎と大変長い期間でした。大変難しく、出来るかなと思いました。でも、今では「手話」と言う言葉がいつも頭のどこかにあります。講座は終わったけど、私が元気でできる間は、手話を続けたいと思います。

●「もっと手話を広めよう!」

鴨方町 Oさん

受講後、日々の生活の中で聴覚障がい者の人々の立場になって、物事を考えるようになった。手話に接したため、今まで知らなかった世界が見えて来た。健聴者との意思疎通が困難な世界。テレビを見る・電話をする・病院・旅・銀行etc.。どれを考えても不自由さが理解できる。聴覚障がい者の方が社会の中で暮らしていくためにはやはり、手話の出来る人が必要不可欠だと思う。

サービス業を含め受付等の業務に携わる人々は、ある程度の手話を習得すべきと思う。しかし、現実

手話の必要性を知らないし、接するチャンスも無い。無

関心が無いとは言えない。

だからこ

そ、手話に接するチャンスを公的な立場の人達が、積極的に増やすべきだと思う。この講座を継続してほしいと願います。



手話講座入門編のお知らせ

日程 平成24年6月5日(火)～
平成24年10月16日(火)
10:00～12:00 全20回
会場 健康福祉センター 3F
多機能研修室
募集人員 20名
参加費 無料(テキスト代実費)
問い合わせ 浅口市社協
TEL 44-7744



みんな熱心に聞いています



◎鴨方中学校3年生

昨年春に同校へ岡山県立岡山盲学校講師の竹内昌彦先生が講演にいられた縁で、点

字体験の成果を見ていただくために点字で手紙を書くことに挑戦しました。出来上がった手紙を先生へ送り、後日先生から生徒一人一人へ点字の手紙で返事が届きました。

※鴨方中学校では、グループに分かれて点字体験の他に、車いす体験や高齢者体験、施設訪問なども行いました。

◎金光竹小学校、鴨方西小学校、寄島小学校 4年生

国語の授業で点字について勉強をしたことをきっかけに点字体験に取り組みました。

まず点字の形やきまりについて教えてもらい、そのあと実際に点字板を使って点字を打つことに挑戦しました。

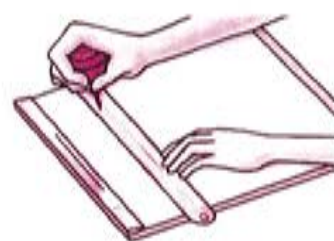
福祉前出講座です

「これを指先で読むって、すごいな」

「点字って大変だな、でもおもしろい」

「私も目の見えない人に親切にしよう」

浅口市社会福祉協議会では、当事者団体やボランティアの協力のもと、市内の小中学校などに出向き福祉学習のお手伝いをする「出前福祉講座」を実施しています。子どもたちは、当事者と関わり、実際に体験することを通じて、福祉意識の向上と思いやりの心をはぐくむことを目的にしています。ここでは昨秋に点字の勉強をした4つの学校をご紹介します。指導してくださったのは、点字ボランティア「点とうむし」のみなさんです。





鴨方中学校



金光竹小学校



鴨方西小学校



寄島小学校

点字とは

視覚障がい者の方が触わることによって読むことができる文字のことです。

縦3点×横2点の6点の組み合わせによってできる形で五十音や数字、アルファベットなどを表しています。

●点字はこんなところにも

- 缶ビールのふたの横に「おさげ」と表示
- 洗濯機のボタン
- 駅の券売機
- 公共施設設備
- エレベーターの操作パネル

お	さ	け
○ ●	● ○	● ●
● ○	○ ●	○ ○
○ ○	● ●	● ●

感想

○わたしは点字を打つ体験をしてみて、「が」の点々をわすれたりして点字を打つのがとてもたいへんということが分かりました。だけれどいっしょうけんめいやったのであつというまに時がすぎました。これからわたしは「目のみえない人になるかもしれない」という心をもって目のみえない人に親切にしようとおもいます。

○点字のことをくわしくおしえてくれました。「こうえんへいく」と点字で書く時は、「こうえんへ」の「へ」の字を「え」と書くなどおしえてくれました。点字はみじかにあります。

でも私はよめません。でも点字体験であいうことを書いているんだなと思いました。

○点字の五十音や決まりはあまり覚えられなかったけど、プリントをもらっているの少し覚えてみたいです。点字の打ち方はよく分かったけど、点字は一字一字打つのでたいへんでした。点字体験をして、目が見えない人はとても苦労していることが分かりました。とても勉強になりました。

○点字について色々なことがわかりました。例えば、1文字は1セットだけでなく、だく点などが付くときは、2セット使うことが分かりました。自分で点字が打てたことがうれしかったです。

老人
クラブが
訪ねる

浅口探訪 ⑬「小坂の古学校」

(小坂東・西地区)

杉谷小学校 小坂東村の町小路に啓蒙所が開かれ、翌年に小学校が開校。明治8年に土井谷に移転しました。

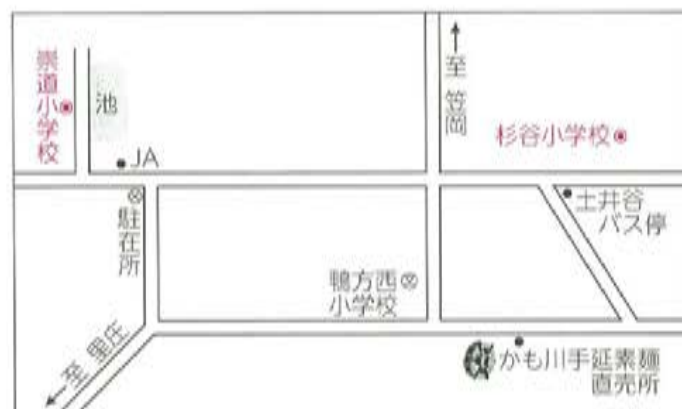
崇道小学校

小坂西村の大内に啓蒙所が開かれ、翌年に小学校が開校。教師には岡山藩学でも教鞭をとった林李溪を迎えました。



これら2校は明治23年に合併し尋常小坂小学校が設置され、明治40年には鴨方西尋常小学校と改称、昭和16年の国民学校令公布までその名称と内容を継続していました。昭和19年阿部山に分校設置、22年国民学校令廃止となり、鴨方西小学校と改称して6年制となり、現在の地に新築移転し現在に至っています。

明治初期の頃は子供も貴重な労働源であった上、当時の初等教育は有料で、その授業料が経済的負担となる場合が多かったようです。さらに昇級試験に合格しないと、上の学年に



地域のお古の方にお話を聞いたところ、小坂東村の学校跡では、「ワシラーの時代じゃあないけど、子供の頃から「古学校」と呼んでいたがなあ。」

小坂西の崇道小学校跡の古学校の方は、「いくらかの史跡らしきものはあったけど、ようは分からん、ずーっと広い土地だったらしいけどな」との事でした。

それゆけ！ボランティア

介助ボランティア「たんぽぽの会」の巻



「たんぽぽの会」では、小・中・高等学校へ出向いて、車いす体験や疑似体験等出前福祉のお手伝いをしています。車いす利用者を介助する際の大事な点、「相手を思いやる気持ちの大切さ」・「車いすでの生活の不便さの発見」という事に気づいてもらえるように話をしています。ただ、楽しかった・良かっただけでなく、これからも子ども達へ理解を深めてもらえるようにしていきたいと思っています。



お達者さん

渋谷初枝さん (96歳)

寄島町 (早崎)

若い頃から前向きでした!

女学校を卒業してから神戸から大阪梅田の阪急百貨店でレジスターをして働いていました。当時は1000人中70人しか採用されなかった花形の仕事です。戦時中は主人が海軍の通信士でしたので小松島の官舎で暮らしていました。終戦後、寄島に帰ってきたものの家にたくさん人が帰ってきたので東安倉に家を借りて中安倉の知人の玄関先を借りて、煎餅焼きをしておりました。

その当時、煎餅焼きに来ていたお客さんに早崎に家を売り出しているよと声を掛けられ今の住所に住んでいます。そこはあまり縁起のよくない土地だったのですが、「それだったら私が住んで縁起よくしてやろう!」と。そして、これからの時代はオシャレだ!と思いたち、美容院を始めました。最初は私も資格もなく、資格のある従業員を雇ってやっていたのですが…思いついて東京山野の美容師学校に通いました。昼夜土日問わず勉強して資格を取り、寄島に帰ってきて再び美容院を始めました。

「指に真心を込める」をモットーに仕事をして、それからの美容院はとっても評判でした。当時は、西六から大島、南浦に正頭あたりからもお客さんが来てくれて…ついには岡山県一、パー

マネントの材料を使う店なんて呼ばれました。

女は一生華!

現在は、短歌、ペンの光 (ペン習字)、折り紙、手芸・和紙の教室といろんな教室に通うのを楽しみにしています。家でテレビを見て寝転がっていても誰も何も文句を言わないですが…それでは人生楽しくない。人間生きている限り勉強だと思っていますし、私は女ですので女は死ぬまで華でありたいと思っています。オシャレをして、「綺麗でいよう!」そういう気持ちでいると毎日が華やいできます。

お元気の秘訣は?

「物事を苦にしないこと」

生きていると苦しいこともたくさんありますが、「それは神様が試練を与えてくれているんだ」と思うようにします。今日は悪い事でも明日はよくなる、と考えれば何でも楽しいです。子供たちもお嫁さんもみんなすごく優しいし生きていることが楽しくて仕方がありません。感謝、感謝です。いつも感謝を忘れないこと、何事も「ケセラセラ」とストレスを貯めずにいることが健康の秘訣です。

以前はベルマークを集めていた時がありました。今は集めていませんでしたが、ベルマークで被災地支援ができる事を知りました。

金光町 川上さん

鴨方町 土屋さん

毎号のお達者さんを楽しみに読んでいます。豊富な経験の中から、自分に合った智慧を上手に使って元気に頑張っておられるのをいつも参考にさせてもらっています。

金光町 河手さん

食育と言う言葉をよく聞くようになりましたが、そのルーツは大変古い物であることがわかりました。食べ物は大変大切です。私は2年以上毎日玄米を食べています。体力がつき、健康になりました。



クイズの答えとともに「福祉あさくち」の感想をお寄せください

第9回 特別弔慰金の 請求期限が 近づいています。

**平成24年4月2日
までに、ご請求ください。**

支給対象となる方

戦没者等の死亡当時のご遺族で、平成17年4月1日から平成21年3月31日までの間に恩給法による公務扶助料や戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金等を受ける方が亡くなるなどしたことにより、平成21年4月1日において公務扶助料や遺族年金等を受ける方がいない場合において定められた順番によるご遺族お一人。

詳しくは

本庁 市民課
金光 市民生活課
寄島 市民生活課
にお聞きください。

介護者の会 調理実習

日時 3月23日(金)
10:00～

場所 金光公民館

メニュー

- ねぎ塩豚丼
- 豆乳クラムチャウダー
- カンタンよもぎ餅 など

※事情により献立を変更する場合があります

指導 岡本栄養士

※詳しくは、社会福祉協議会
本所支所へ

～認知症防ぐクイズ～

〇〇の中には何が入るでしょうか？(答えはページ下に)

認知症にならないための7つの法則

①散歩をする

歩くと〇への血流が増える。

②新聞を声に出して読む

声を出すとき喉・舌・頬の〇〇が活性化し、脳への刺激が増える。

③〇〇を作る

〇〇はクリエイティブな作業。脳のあらゆる場所、運動神経・記憶中枢など全部刺激される。

④社会と交わる

現役のときとなるべくかわらないように社会と交わったほうが良い。人と交わり、いろんな事を〇〇しあい、感激することが大事。生き甲斐や意欲も生まれてくる。

⑤電車・バスで出かける。

家にいるだけでなく、外に出る習慣をつける。初めて〇土地に行く事で軽い緊張感が生まれ、認知症予防に繋がる。軽い緊張感が良い。(洋服もそれなりにしなやかと思うようなマイルドな緊張) 重い緊張感は〇〇〇〇になる。

⑥〇〇をつける

認知症の予防にかなり重要。

今日何があったのか、思い返す事が大事。

実際に、認知症の治療の一つとして回想法というのがある。その日一日のけじめがつき、翌日への生き甲斐も生まれ、認知症予防に繋がる。

⑦恋をする

恋をする事が一番簡単に脳を刺激する。

〇〇〇〇をしたり、若作りしたり、楽しい話題のためにいろいろ考えたり。

浅口市老人クラブ連合会 講演会

「ホルモンうどん町づくり」 —B1クラブにばれ話—

日時 2月22日(水) 13:30～

場所 金光公民館

講師 鈴木康正さん

(津山ホルモンうどん研究会代表)

※詳しくは、単位老人クラブ会長にお聞きください。

篤志御礼

(平成23年12月31日まで)
ご寄付ありがとうございました。
地域福祉事業に有意義に使用させていただきます。

金光町

- 貝畑隆資さん(占見新田)より
亡母 芳子さんの偲び草
- 西山萬亀子さん(上竹)より
亡夫 寅男さんの香典返し
- 岡本恵美子さん(占見新田)より
亡母 安田春子さんの香典返し
- 虫明睦子さん(占見)より
亡夫 萬亀雄さんの香典返し
- 木下満雄さん(下竹)より
亡母 雪枝さんの香典返し
- 石井文子さん(上竹)より
亡夫 範道さんの香典返し
- 梶井準治さん(占見)より
亡父 三宅一元さんの香典返し
- 青木澄雄さん(須恵)より
一般寄附
- 間田 榮さん(下竹)より
百歳の記念

鴨方町

- 横田正尚さん(益坂)より
亡母 於末さんの香典返し
- 田中勝子さん(小坂西)より
亡母 ミドリさんの香典返し

- 横山一成さん(小坂西)より
亡母 キクエさんの香典返し
- 八方和子さん(六条院中)より
亡子 秀樹さんの香典返し
- 田口慶子さん(本庄)より
亡夫 博志さんの香典返し
- 田淵昭正さん(本庄)より
亡父 正夫さんの香典返し
- 大島正光さん(六条院中)より
亡祖母 亀子さんの香典返し
- 中村芳郎さん(小坂東)より
亡父 範雄さんの香典返し
- 細井一二さん(六条院東)より
亡母 君子さんの香典返し
- 石丸主税さん(深田)より
亡母 登志子さんの香典返し
- 寺島 豊さん(小坂東)より
亡妻 公子さんの香典返し
- 鴨方東子供会さんより
祭りの御花の一部
- 鴨西少年団さんより
祭りの御花の一部
- 鴨西子供会さんより
祭りの御花の一部
- 鴨東少年団さんより
祭りの御花の一部
- 中山子供会さんより
祭りの御花の一部
- 中山峠子供会さんより
祭りの御花の一部
- 西原町内会・御船会・子供会さんより
祭りの御花の一部
- 浅口市文化協会・トルペイント一同さんより
一般寄附

税額控除できます

平成23年度の税制改正により、社会福祉協議会に対する寄附について、年間合計額が2,000円を超えた額が所得税税額控除及び個人住民税の所得割控除を受けることができます。

控除を受ける際は、次の点に留意願います

1. 所得税の寄附金税額控除及び個人住民税の寄附金税額控除の両方の適用を受ける場合は、所得税の確定申告が必要となります。確定申告の際に寄附受付時にお渡しした「拝受証」及び岡山県発行の「税額控除に係る証明証」(写)を添付の上、所轄の税務署に提出してください。
2. 給与所得者または年金所得者の方で所得税の確定申告を行わない場合は、市区町村に簡易な申告を行うことで、個人住民税の所得割控除が受けられます。申告にあたっては「都府県民税・市町村民税 寄附金税額控除申告書」に寄附受付時にお渡しした「拝受証」を添付の上、寄附金を支出した翌年の1月1日現在でお住まいの市区町宛てに提出してください。ただし、この場合、所得税の税額控除は受けられないことになりますのでご注意ください。
3. ご不明な点等は、浅口市社会福祉協議会までお問い合わせ下さい。

寄島町

- 浅口市社会福祉協議会(鴨方会場)実行委員会さんより
チャリティバザーの収益金の一部
- 日本キリスト教団鴨方教会さんより
クリスマス献金の一部
- 大島安隆さん(鏡)より
亡父 敏正さんの香典返し
- 藤井進彦さん(早崎)より
亡父 晃生さんの香典返し
- 亀岡孝生さん(青佐)より
亡母 貞子さんの香典返し
- 田中米良さん(中安倉)より
亡母 トラさんの満中陰志
- 道広清子さん(東安倉)より
亡夫 浩さんの香典返し
- 遠藤弘子さん(鏡)より
亡兄 植山定さんの香典返し
- 三宅唯男さん(東安倉)より
亡父 幸四郎さんの香典返し
- 荒川千代茂さん(鏡)より
亡父 克美さんの香典返し

『東日本大震災 チャリティーバザー』

東日本大震災から11ヶ月が経とうとしていますが、復興の進む中、被災者の方々は震災前の平穏な生活を取り戻すことを願いながら、寒い雪の中、仮設住宅で不便な生活を送られています。震災から1年が経つこの時期に、社会福祉協議会の協力を得て、浅口市内で活動しているボランティア団体みなで力を合わせ、『東日本大震災チャリティーバザー』を開催することとなりました。収益金は全額被災地に送金します。

日時 2月28日(火) 12:00~13:20

会場 健康福祉センター 3F ロビー

問い合わせ 事務局 TEL 44-7744

福あさ 提供：鵜方高校
まんが愛好会
4コマ劇場



『福祉あさくち』はボランティアグループ「鵜方はるか会」のご協力により、目が不自由な方のために音訳をしています。詳しくは社会福祉協議会へ。

応募方法
官製ハガキに住所、氏名、苦えと「福祉あさくち」の感想を必ずお書きの上、
〒719-0243 鵜方町鵜方73番地
浅口市社会福祉協議会まで。
正解者の中から抽選で20名に記念品贈呈。

クイズ 探して並べろ
今号の紙面に□で文字をかこんだ箇所が6カ所あります。この6文字をならべかえて、言葉をつくらせて下さい。
◆ヒント 3月3日は何の日？
◆締め切り 3月31日(土) アッケシソウ
消印有効
でした。

今年こそボランティアやってみよう

～一例を紹介します～

風の子

大型紙芝居やエプロンシアターを保育園や地域のサロンで上演します。制作や裏方も歓迎です。

傾聴ボランティア

老人ホームで話し相手になるボランティアです。「耳を傾けて聴きます。」毎月第2火曜日に定例会。

みつやまクリンクラブ

寄島町の三郎島海岸の清掃をしています。月に1回、土曜日の朝1時間の活動です。「気持ちいい」ですよ。

ゆめの会

給食サービスの掛け紙に絵を描いています。描く楽しみ、送る喜びを感じてみませんか。

※このほかにも各種グループがあります。また、ボランティア登録をすることもできます。詳しくは、社協へ

表紙のことば

「紙芝居に興味津々」—— 浅口市では、子育て中の親子がなごやかな雰囲気の中でお互いに交流して、子育ての不安を解消する目的で、つどいのひろば「のびっ子」を開設しています。(詳しくは4ページ)